

が中心となり、医学生（3年～6年）は授業として参加する形式で、5月から11月にかけて計6回開催した。

開催日	開催回数	担当科	臨床診断名
5月12日(月)	第690回	腎臓・高血圧内科	感染性心内膜炎
6月2日(月)	第691回	消化器・肝臓内科	膵尾部原発、神経内分泌癌
7月7日(月)	第692回	呼吸器内科	心膜悪性中皮腫、肺癌
9月1日(月)	第693回	腫瘍・血液内科	原発性骨髄線維症、肝硬変
10月6日(月)	第694回	リウマチ・膠原病内科	皮膚筋炎、間質性肺炎
11月10日(月)	第695回	神経内科	悪性リンパ腫

※開催場所・時間は全て、大学1号館講堂 18:00～19:30

2. 専門修得コース（レジデント）

- 1) 平成20年度より、レジデント124名（本学初期臨床研修修了者79名、他施設初期臨床研修修了者35名（本学卒11名）、大学院単位取得者10名）が専門修得コースでの研修を開始した。
- 2) レジデント91名、リサーチレジデント5名の合計96名が平成21年3月31日をもって専門修得コースを修了した。
- 3) 平成21年度レジデントの採用試験を平成20年9月27日（土）に実施し、その後も随時追加試験を実施した結果、127名（前年比+4名）を採用した。採用者の内訳は次の通りである。
本学初期臨床研修修了者78名、他施設初期臨床研修修了者46名（本学卒20名）、大学院単位取得者3名

8) 生涯学習センター

- 1) 登録者数：平成21年3月現在245名、内港区医師会31名、中央区医師会6名である。
- 2) 利用者数：平成20年度は169名である。
- 3) テレフォンサービス利用件数：平成20年は117件である。
- 4) 月例セミナーが下記のとおり開催された。
 - ① 第168回・平成20年4月12日
高齢者の呼吸器疾患 桑野 和善 教授（呼吸器内科）
 - ② 第169回・平成20年5月10日
白内障はどう見つけどう治療するか 常岡 寛 教授（眼科）
 - ③ 第170回・平成20年6月14日
変わりゆく乳癌治療 内田 賢 教授（乳腺・内分泌外科）
 - ④ 第171回・平成20年7月12日
狭心症を見分ける方法 吉村 道博 教授（循環器内科）
 - ⑤ 第172回・平成20年9月13日
身体に優しい肺疾患の外科的治療 森川 利昭 教授（呼吸器外科）
 - ⑥ 第173回・平成20年11月8日
こわい？肝臓疾患 伊坪真理子 教授（消化器・肝臓内科）
 - ⑦ 第174回・平成21年2月14日
なぜもの忘れをするのか 笠原 洋勇 教授（精神神経科）

⑧ 第175回・平成21年3月14日

健康を考えた食べ物

横山 淳一教授（糖尿病・代謝・内分泌内科）

5) 第29回夏季セミナー

「保険診療の葛藤」が平成20年8月2日（土）午後4時より鳥海弥寿雄（乳腺・内分泌外科）の司会で行われ、参加者は74名であった。

① ここが変だよこの査定、ここが変だよこの算定

吉田 哲（循環器内科）

② 保険診療は聖者（正邪）の進行か？

羽尻 裕美（麻酔科）

③ 保険診療の今日明日

横田 邦信（医療保険指導室）

④ 調剤審査の傾向と対策

法橋 建（総合診療部）

⑤ 日常における保険診療のポイント

5-1：内科の立場から

高木 一郎（消化器・肝臓内科）

5-2：外科の立場から

石田 祐一（消化器外科）

⑥ パネルディスカッション

「保険診療のピットフォール」